

テストを外部業務委託するメリットとしては、業者が長年蓄積したデータを基に、児童生徒の学力を客観的に分析できる点が挙げられます。また、教員の採点・集計分析業務の負担軽減となり、教員が児童生徒と向き合う時間の確保につながります。

一方、デメリットとしては、各教員の出題意図がテストに反映されにくいこと及び大規模なテストにおいては、採点・集計業務に時間を要するため、児童生徒が結果を受け取るまでに時間がかかることなどが挙げられます。

②につきましては、上記①のデメリットでも述べたとおり、大規模な調査になればなるほど、結果を受け取るまでに時間がかかってしまう実態があると推察いたします。

まず、本市が外部団体と直接契約している調査につきましては、小学6年生の採点・評価を最優先させながら、可能な限り速やかに業務が遂行されるよう業者との契約の中で求めてまいります。

次に、本市が補助金を交付している中学校の学力診断テストにつきましては、契約主体である都北進路指導研究協議会に確認したところ、仕様書及び契約書が存在しないとのことでありました。今後につきましては、契約主体が仕様書を示し、適切な業者選定を実施した上で、契約者と契約書を取り交わすよう都北進路指導研究協議会を指導いたします。

また、特に受験を控えた3年生については、1日でも早く生徒や保護者に結果が行き届くようにするため、仕様書の中に迅速な分析を行うことについて明記するよう、重ねて都北進路指導研究協議会を指導いたします。

(文書取扱 学校教育課)

電話 23-2161 FAX 23-6361